

共同運営部門：内視鏡センター

—スタッフ—

役 職	スタッフ名
センター長兼消化器内科部長	高谷 宏樹
消化器内科医長	山原 邦浩
消化器内科主任部長（肝臓）	大西 亨
消化器内科医長	中野 智景
非常勤医師	月曜 午前1名, 午後1名

—概要—

2022年度もCOVID-19の影響が持続した。感染予防を徹底して内視鏡検査、処置を行った。

主に常勤の内視鏡医3人で検査・処置を行い、月曜日のみ非常勤の内視鏡医を加えた。

内視鏡常勤医3人で平日夜間の緊急内視鏡検査と処置を行っているがなかなか毎日対応することは困難で、また内視鏡センター看護師の夜勤や休日勤務にも制限があり夜間休日の対応は月に20日程度可能となっている。

2021年9月末に新内視鏡センターがオープンし、検査室が2部屋から3部屋に増床され、また、リカバリーベッドを増やし鎮静下での内視鏡検査処置に十分に対応できている。

内視鏡学会指導医・専門医2名、専門医1名が当院に常勤として在籍しており日本消化器内視鏡学会認定指導施設となっている。

当院で研鑽を積むことで日本消化器内視鏡学会認定専門医の取得が可能である。

—実績—

内視鏡件数

	件数
上部内視鏡	3,337
上部止血	7
上部EMR	8
上部ESD	28
ERCP関連処置	200
胆膵EUS	284
下部内視鏡	1,439
下部ステント	9
下部EMR	281
下部ESD	4
総計	5,597

—今年度の成果と反省点・来年度への抱負—

COVID-19の中、感染対策を徹底しつつ、内視鏡検査・処置を行った。一時院内でのクラスターなどもあり内視鏡検査処置を制限する時期もあったが、何とか前年度を上回る検査・処置数を維持できた。月曜日以外は常勤のスタッフのみで内視鏡センターの運営をおこなった。

2017年度から内視鏡センターを整えてきた。検査数、処置数、診断レベルも向上してきた。今後もさらなる向上を目指しつつ、地域の消化器内科、消化器内視鏡医療に貢献していきたい。